

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当: 斎藤登美夫



◆◆◆ No.0517 ◆◆◆

19/01/16

【 2019 年の為替見通し、「ドル中立」から「やや強気」を予想 】

2019 年が始まって半月余り。年明け早々、1 月 3 日だけで 5 円近く動いたときには、今年のドル/円はどうかと恐怖半分ながら期待もそれ以上に大きかったが、その後の値動きを見ると、良くも悪くも再び相場は落ち着いてしまったようだ。

さて、今回の当レターは、新春恒例である「年間変動率」を参考にしたドル/円相場の今年一年の見通しについて、報じてみたい。果たして、年間を通していったいどういった値動きが予想されるのだろうか!?

◎予想レンジは「103-118 円」、広くとれば「100-120 円」を見込む

当レターでは過去に幾度となくレポートしている「年間変動率」だが、改めて最初に簡単な説明を試みたい。過去 1 年間の相場変動をデータ化したもので、ドル/円の平均変動はおおよそ 17%になる。さて、そんな状況下、今年の為替市場の寄り付き価格は筆者が参考にしてているデータでは 109.80 円であった。これを基準価格とし、今年も平均で先に挙げた 17%の価格変動が予想されることになるわけだ。

そして、今年のオープンレート 109.80 円に平均変動率である 17%を単純に掛け合わせてみると、仮に一年を通して一本調子のドル高が進行した場合の高値メドはおおよそ 128.47 円で、逆に一本調子にドル安が進んだとすれば安値は 91.13 円となる。

ー 上記したものは通常のオーソドックスな分析になるが、ここからが過去にもレポートしているオリジナルな「斎藤流」の年間変動率だ。いま一步踏み込んでさらに詳細な見通しを考えてみたい。

過去の変動率のデータを、最初に(1)「ドル強気相場」と(2)「ドル最強相場」、(3)「ドル弱気相場」と(4)「ドル最弱相場」、(5)「中立相場」ー という 5 段階に分類してみる。紙幅の関係もあり、上記 5 例の算出方法や詳細な分類については省くけれども、それからすると(1)の「ドル強気相場」の年は年初寄り付きを基準に平均でドル高方向におおよそ 12%、ドル安方向に同じく 6%ほど動くことが判っている。同様に以下で、(2)から(5)について算出した過去の平均変動幅をもとに、今年のドル/円相場のドル高値と安値を予想してみた。以下がそれになる。(基準レートは 109.80 円を使用)

- (1);「ドル強気相場」;ドル高方向に 12%、ドル安方向に 6% ー ドル高値 122.98 円、ドル安値 103.21 円
- (2);「ドル最強相場」;ドル高方向に 17%、ドル安方向に 1% ー ドル高値 128.47 円、ドル安値 108.70 円
- (3);「ドル弱気相場」;ドル高方向に 5%、ドル安方向に 11% ー ドル高値 115.29 円、ドル安値 97.72 円
- (4);「ドル最弱相場」;ドル高方向に 2%、ドル安方向に 15% ー ドル高値 112.00 円、ドル安値 93.33 円
- (5);「ドル中立相場」;ドル高方向に 8%、ドル安方向に 9% ー ドル高値 118.58 円、ドル安値 99.92 円

そうしたなか、前述したように 3 日のドル急落を受け、ドル/円相場は一時 104.10 円まで下落しており、早々に(2)の「ドル最強相場」の芽は潰えた感を否めない。つまり、それ以外、残り 4 つのなかに今年の相場が含まれていると言えそうだ。

相場を取り巻く様々な材料などを勘案したうえで、筆者は今年の相場について(5)の「中立」見通し、あるいはそれよりやや「ドル強気」だが、(1)にはとどかないイメージを抱いている。したがって、今年の予想レンジは「中立相場」の(5)に、相場に付き物である多少のオーバーシュートやアンダーシュートなどを合わせ「100-120 円」程度になると考えたい。

ただ、改めて指摘するまでもなく、ドル/円相場は 2017 年と 18 年、2 年連続の小変動。とくに昨年は、「年間変動幅」が変動相場制で最小を記録している。一年を通して変動幅が 10 円にも満たなかったことからすると、先で指摘した「100-120 円」の予想レンジ 20 円幅は如何にも広いー と言われたらなかなか反論がしにくいだろう。

また、今年と同様、過去の「米中間選挙実施年」と「米大統領選実施年」の狭間に当たる過去の中間年を振り返ってみても、前回 15 年は変動幅 8.4%、それ以前 11 年は 12.3%、07 年は 14.2%、03 年は 12.8% ー などと、かなりの小変動をたどっていることが見て取れる。個人的には、過去 2 年の反動を大いに期待したいところだが、前述したように過去のパターンは「3 年連続の小変動」を示唆している気もしないでは

ない。

とすれば、実際のところは、レンジの上下を切り捨てた 15 円レンジ、「103-118 円」程度の予想が妥当であると考え、予想レンジは微修正しておきたい。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved



FX-newsletter